

別記様式

会 議 録

会議の名称	平成29年度第2回 藤岡地域会議
開催日時	平成29年5月23日午後6時30分開会・午後8時53分閉会
開催場所	藤岡総合支所旧議会棟 会議室
出席者氏名	別紙のとおり
欠席者氏名	別紙のとおり
事務局職員職氏名	別紙のとおり
その他出席者等	別紙のとおり
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡良瀬遊水地シンボル施設整備事業について（遊水地課報告） ・ 総合計画後期基本計画の地域計画策定について (総合政策課意見聴取 継続審議) ・ 平成29年度提案事業について（地域予算提案制度） ・ その他 パパ・ママ子育て世代ふれあいトークについて (シティプロモーション課情報提供) 藤岡総合支所東館解体事業について
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	無し
その他必要事項	無し
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
◎会長 ○遊水地課 ◎会長 ◎A委員	<p>1 開会</p> <p>2 委員紹介 第1回地域会議欠席者と、5月から就任された新委員よりあいさつがあった。</p> <p>3 あいさつ 小曾根会長よりあいさつがあった。</p> <p>4 議事 (1) 渡良瀬遊水地シンボル施設整備事業について（遊水地課報告） <説明> 担当課に対し、協議事項の説明を求めた。 資料に基づいて説明した。 <質疑・意見等> 委員に対し、意見を求めた。 この整備事業は、藤岡スポーツふれあいセンターのみなのか。部屋南部地区では、毎年桜まつりが開催され、今年はトイレも整備された。だが、乗車率が悪かったのか、ふれあいバスの路線から外れてしまった。去年のふれあいトークで復活を要望したが復活されなかった。できたら、ふれあいバスを通していただき、小学校等の野外学習などに利用していただきたい。遊水地内にハート形の池を造</p>

<p>○遊水地課</p>	<p>る予定もあるようなので観光化できるようお願いしたい。</p> <p>部屋南部地区の桜まつりについては、私も毎年出席させていただいている。話に出た環境学習関係については、国に要望していて、現在は国の方で第2調節池を掘削している。環境学習のアクセスが良いためということで、委員さんがご指摘の所の近くにハート形の池を造ってもらうことになっている。おそらく来年度辺りに出来る予定で、ぜひ環境学習で市内の学校を中心に来ていただく計画を遊水地課でしている。それに関連している部分は頭に入れておき、もちろん有効活用はするつもりでいる。今いただいた意見については、その計画が既にあるという事をお知らせしておく。</p>
<p>◎A委員</p>	<p>季節ごとの遊水地は見どころがあり、国交省からも富士見百景で登録されている。もっと周知していきたいので、力をいれていただくようお願いしたい。</p>
<p>◎B委員</p>	<p>ハートランドプランについて、具体的に何を求めてどの様な形を描いているのか、以前からなかなか伝わっていない。遊水地課では、今回ビジターセンターが具体的な形になっていく中で、このハートランドプランでの藤岡地域のまちづくりをどのように計画しているのか、教えていただきたい。</p>
<p>○遊水地課</p>	<p>ハートランドプランでは、課題を抽出して、それに伴う施策、将来像を掲げている。渡良瀬遊水地の宝を守って夢を未来に繋げる、と漠然とした中で、将来像として5つの基本柱の中で40近い施策を展開しようというもの。漠然とは、治水利水を進める、自然と歴史を受け継ぐ、レジャースポーツを楽しむ、おもてなしの環境を育む、誇りを抱いて交流する、と抽象的である。このハートランドプランに基づいて、アクションプランを作成し、市のホームページに掲載している。10年をスパンとし、前期、中期、後期に分けている。平成29年度までには、人材育成をすると謳っている。その結果、ボランティア養成講座等含め、現在ガイドクラブさんが実際に案内を行っており、ヨシ細工のスタッフなど様々な人材育成を行なおうと施策を展開している。将来に向けて、遊水地を守る体制が作れるのが最上ではないかと施策を展開したところ。中期に入ると、おもてなしが重要になってくるので、シンボル施設しかり、農産物等の商品開発をして地域振興策を図るという部分も必要。遊水地内外のアクセスの向上、ネットワーク化についても併せて実施しなくてはならない部分である。分野が広いため、遊水地課は何をやっているのか、ハートランドプランは何を目指しているのか、見出せない部分はあるが、遊水地を守って未来へ繋げようということ。栃木市は71.2%の大きな面積を持っていて、それは栃木市が先導的に保全をして利活用していかなくては行けないと、市長以下思っているところ。様々な分野については、情報発信を進めてハートランドプランの情報提供もしていく。また、機会があったら、今年度、来年度に向けての施策についてももう少し細かく説明したいと思っている。</p>
<p>◎会長</p>	<p>遊水地は大切な資源のため、近くにいる遊水地課があるのに地域会議に情報が流れてこないのも寂しいので、ある程度定期的にお呼びして情報を共有したいと思うので、今後もよろしくお願いしたい。</p>
<p>◎C委員</p>	<p>平成30年4月からビジターセンターが設置されることと、今、栃木女子高の</p>

○遊水地課	<p>生徒達が絵を書いたりしてくれたりとおあるが、そういう事も併せてハートランドプランとの兼ね合いなのか。</p> <p>ハートランドプランは平成26年度末に出来たもので、27年度から36年度までの10年間をスパンとした内容となっている。ハートランド構想のイメージづくりを栃木女子高との連携を含めて、ハートに根差した遊水地イコールハートランドという構想の中の一環で行っている事業である。</p>
○D委員	<p>国の第二次補正予算、ここで良い交付金がもらえるからこの時期でやってしまおうという印象がある。シンボル施設として、ソフト面の内容はどういう利用をしていくか。これまでのスポーツふれあいセンターと同じようになってはいけないと思うので、じっくり計画して行ってほしい。</p>
○遊水地課	<p>おっしゃるとおりである。交付金は活用はさせていただくが、施設は、遊水池会館やスポーツふれあいセンターや、渡良瀬の里もある。これらをいかに利活用できるか、庁内でも話は出ている。どうしてスポーツふれあいセンターになったか、立地的な状況も含め、玄関口になっていること。うまく施設の有効利用されていない部分もある。とってビジターセンターになったら有効活用できるかという意見も出ている。これは、栃木市の顔として、玄関口として、総合的なビジターセンターの機能プラス展示の充実を含めて、来訪者に応える施設にしなくてはならないし、使命もある。将来を見据えた部分というところでは、今まで構築した遊水地課で持っている情報もあるし、有識者からのご意見もいただき、愛され、宝である遊水地のハートランドのイメージを栃木市としてPRしたいと思っている。ご指摘のとおり、十分注意して、ご意見をいただきながら進めていきたいと思っている。</p>
○D委員	<p>大いに発信していただきたい。</p>
○E委員	<p>ただ遊水地の紹介にとどまらず、遊水地観光の基点のとなる場所にしていただきたい。ほとんどは遊水地というと谷中湖のイメージが強い。観光拠点となる施設としての活用もできないか。もう少し、何か考えていかななくてはと思う。</p>
○会長	<p>また遊水地課の方で報告等ございましたら時期を見てご出席していただきたい。また、こちら地域会議からも必要に応じ出席を呼びかけたいと思うので、その時はよろしくお願ひしたい。</p>
○会長	<p>他に意見等がないため、議事の終了により遊水地課に退席を求めた後、次の議事に入ることを述べた。</p>
○会長	<p>(2) 総合計画後期基本計画の地域計画策定について(総合政策課意見聴取 継続審議)</p> <p><説明></p>
○会長	<p>事務局に対し、協議事項の説明を求めた。</p>
○事務局	<p>資料に基づいて説明した。</p>
○会長	<p><質疑・意見等></p> <p>この協議事項は、第1回地域会議から第2回へ継続審議となったもの。総合計画前期基本計画の地域計画(地域重点事項)の藤岡地域分は11項目ある。この</p>

	項目を基に削除、変更、または追加すべき項目を協議し、後期基本計画の地域計画として策定し回答したい。
◎会長	委員に対し、意見を求めた。
◎F委員	『渡良瀬遊水地内外サイン（案内板など）整備』について。継続してやっていただけたらと思うが、現状ではもう出来ているのではないか。遊水地外は、藤岡地域で可能だが、遊水地内は国交省扱いで出来ないという話があった。
○事務局	事前に遊水地課に照会したところ、渡良瀬遊水地保全利活用協議会の中に、賢明な利活用及び地域振興合同部会があり、そこでアクセス道路ネットワーク及び渡良瀬遊水地内の道路案内サインを検討中とのこと。遊水地内、遊水地までの道路案内を含め現在検討中とのこと。整備を含め実施されていないのが現状である。
◎B委員	この基本計画の地域重点事項は、まだまだ完結しているものではないと考える。引き続き重点事項として注視していかなければならない。前に進めるためにも重点事項から離すことは出来ないと考える。ここに挙げられたものは継続してやって行けたらと思う。他に追加があれば追加することで良いかと思う。
◎会長	ここに挙げられているものは継続していただきたいとのことだったが、『スポーツふれあいセンターの活用』については、先程スポーツふれあいセンターがビジターセンターにと報告があったが、この項目はどうか。
○事務局	先程の遊水地課からの整備スケジュール説明だと、今年度2月を目途に改修工事が終了する計画であった。「仮称ハートランド城」という言葉も使っている様だったので、「藤岡スポーツふれあいセンター」という名称自体が無くなるのかもしれない事が1つ。藤岡スポーツふれあいセンターの活用をビジターセンターという特定の目的に絞って整備をするという事なので、この項目は引き続き継続することが適当なのか、後期基本計画では削るべきかご検討いただきたい。
◎B委員	藤岡スポーツふれあいセンターと似たような施設で、遊水池会館がある。ここは（一財）渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団の拠点でもあるが、この施設と今度出来るビジターセンターは連結した活用が必要となる。説明の中で、ビジターセンターは、現在のスポーツふれあいセンターの大きさを改修されるとのこと。そうすると、集客等を考えた場合、不足の部分が出てくるため、遊水池会館と直結した活用が課題になってくると思われるので、その事を踏まえた事を入れていただけたらと思う。
◎会長	「スポーツふれあいセンター」の建物の名前を変えて、違う文言にすることも良いという事か。
◎B委員	そのとおりである。
◎E委員	『スポーツふれあいセンターの活用』は削って、『渡良瀬遊水地内情報（施設、イベント、体験など）の発信』のところに含めることで、よろしいのではないか。
◎B委員	その項目の括弧内の『施設』に、ビジターセンターが遊水地内施設に含まれるという考えなのか。または、新しくビジターセンターの活用ということで具体的に項目を入れるか、どちらかだと思うが。
◎G委員	情報を発信することと、施設を利用することは別だと考える。『スポーツふれ

	<p>あいセンターの活用』は削って構わないと思うが、渡良瀬遊水地に係る施設を総合的な活用という様な表現にすれば、ビジターセンター含め遊水池会館等、遊水地に係る施設を総合的に活用する、ということで表現できるのではないかと思う。</p>
◎B委員	<p>ビジターセンター及び周辺施設の活用、などで良いのではないか。ビジターセンター、遊水池会館、渡良瀬の里等も含めたニュアンスで。</p>
○事務局	<p>趣旨は理解したが、文言の確認をしたい。『ビジターセンター及び遊水地周辺施設の利活用』ということで、よろしいか。</p>
	<p>— 了承 —</p>
◎D委員	<p>藤岡地域では、以前ゲリラ豪雨で大きな水害があった。藤岡地域は水害に一番遭いそうな所だが、水害対策について項目が入っていない。旧栃木市の西の方は、土砂災害がある。市でも、色々な関連の物に危機管理の考え方が近年組み込まれている。地域計画の中の全地域共通の項目には、『防犯、防災に強い住環境づくりの検討』、『安心安全に配慮した良好な都市的住環境の整備』と緩やかな表現をしているが、市でも最近は、自然環境の危機管理、ハッカー等の人的な危機管理もあることで、考え方が変わってきている。藤岡地域としては、『水害対策のハード及びソフト面の整備の強化』という文言を入れていただきたい。ハード面は、例えば堤防対策強化、河川関係の整備。ソフト面は、避難弱者、車の無い世帯や、お年寄り、一人世帯等への対応を含めた避難体制の整備。総合的な水害に対する対策が必要であると考えます。</p>
◎会長	<p>ただいま発言のあった『水害対策のハード及びソフト面の整備の強化』の項目を追加することでよろしいか。</p>
	<p>— 了承 —</p>
◎D委員	<p>文言の変更で、『水害対策の総合的な整備強化』でお願いしたい。</p>
◎会長	<p>他に意見が無いか、委員に求めた。</p>
	<p>— 意見無し —</p>
◎会長	<p>それでは、『スポーツふれあいセンターの活用』を『ビジターセンター及び遊水地周辺施設の利活用』へ変更し、『水害対策の総合的な整備強化』を追加することで回答する。</p>
◎会長	<p>事務局に回答の手続きを依頼し、次の議事に入ることを述べた。</p>
	<p>(3) 平成29年度提案事業について(地域予算提案制度)</p>
	<p><説明></p>
◎会長	<p>事務局に対し、協議事項の説明を求めた。</p>
○事務局	<p>資料に基づいて説明した。</p>
	<p>この提案事業について、今後どう進めていくか事前に正副会長・事務局で話し合った確認事項を連絡した。</p>
	<p>・提案事業を検討するにあたって、二つの部会(総務産業建設部会・教育民生部会)を設置する事。ただし、地域予算提案に関しては分野を問わず検討する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・目標として、5月、6月で提案事業を検討し、7月までに取りまとめ、8月の地域会議で最終確認をする事。必要に応じて、定例の地域会議日の他、原則第2火曜日で部会を開催する事。 ・部会資料として、委員から提出された身近な課題についての一覧【予算提案資料1】、過去の各地域提案事業の一覧【予算提案資料2】を用意する事。 ・今年度の地域予算額は、287万円。 <p><質疑・意見等></p>
◎会長	<p>説明のとおり、毎年約280万円の予算の事業を、この地域会議で事業内容を提案する事になっている。例年、二つの部会を作り協議してきたので、今年度も自由に協議しやすくなるよう部会を作りたいと思うが、ご了承いただけるか。</p> <p style="text-align: center;">— 了承 —</p>
◎会長	<p>それでは、部会の振り分け方はどうするか。</p> <p style="text-align: center;">— 意見無し —</p>
◎会長	<p>意見が無いようであれば、事務局と協議し振り分けた案でよろしければ、示させていただきます。</p> <p>案のとおり、部会を決定してよろしいか。</p> <p style="text-align: center;">— 了承 —</p>
◎会長	<p>では、部会ごとに集まり、正副部会長を決めていただきたい。</p> <p style="text-align: center;">— 正副部会長 選出 —</p>
○事務局	<p>選出結果は、総務産業建設部会の部会長は町田委員、副部会長は横田委員。教育民生部会の部会長は石川委員、副部会長は野澤委員となった。</p>
◎会長	<p>地域予算提案に関する部会協議では、分野ごとに分けることはしないことを確認し、身近な課題を提出した委員に対し説明を求めた。</p> <p style="text-align: center;">— 予算提案資料1を基に各々説明 —</p>
◎会長	<p>予算提案資料1で説明していただいた内容も参考に意見を出していただけたら幸いである。予算提案資料2も参考にしていきたい。</p> <p>今度の部会の開催については、合同部会として開催したいと思う。進行については各部会長にお任せする。所管課からの説明や、事業内容についての情報も集めて、8月には提案事業を決めていきたいと思うので、ご協力願いたい。</p>
◎会長	<p>議事の終了により、次の議題に入ることを述べた。</p>
○事務局	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> — パパ・ママ子育て世代ふれあいトーク(シティプロモーション課情報提供)について説明 — — 藤岡総合支所東館解体事業について説明 —
◎会長	<p>委員に対し、他に意見等があるか確認した。</p>
◎B委員	<p>2022年、栃木国体が開催される。国体競技であるボート競技大会の会場を遊水地へ誘致してほしい旨、地域会議で市長へ提言した経緯がある。先日その件について、「会場は遊水地で決まっている」と周りから聞かされた。ビジターセ</p>

	<p>ンターの件もそうだが、前の地域自治制度の地域協議会でも多数提言していたが、提言後の報告を受けていない。地域協議会が終了しても、その後に報告があつてしかるべき。その辺を、皆さんと検証していきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>
◎F委員	<p>追加で言わせていただきたい。副会長から平成28年度に提案されたレンタサイクルの話についても、前の地域協議会で意見が出されていた。遊水地に関しての提案は早くに藤岡地域で提案しているのに、やっていないと言われ悔しい思いをしている。</p>
◎会長	<p>検証については、事務局にご協力をお願いしたい。</p>
◎C委員	<p>A委員からお話のあつた部屋南部桜つつみ公園の場所にトイレが出来た件に関する事で、私も部屋地区在住のため地元の方から要望を受けている。今まで、ふれあいバスが通っていたのに、トイレが無いからバスが通らなくなったという噂を聞いたとのこと。乗車人数も関係があると思われるが、今はトイレが出来て、部屋南部桜つつみ公園もこれからという時期なので、もう一度バス路線の検討をお願いしてほしいとのことだったので、よろしくお願ひしたい。</p>
◎会長	<p>この件については、担当課へ具申できるか。</p>
○事務局	<p>ふれあいバス路線の件については、事務局から所管課へ確認をとらせていただき、連絡することで対応したい。</p>
◎会長	<p>他に意見等が出されなかったため、議事の終了により以降は事務局が進行する旨を述べた。</p>
	<p>4 その他</p>
○事務局	<p>委員に対しその他の協議事項の有無について確認した。</p>
◎E委員	<p>先ほどの提案事業の協議の中で、皆さんから出された身近な課題のほとんどが渡良瀬遊水地を観光資源としてもっと活用できないかという意見であつた。ところが渡良瀬遊水地を所管しているのは国交省、ラムサール条約は開発よりむしろ環境保全という事になっている。したがって、どこまで許されるのか。例えば、恒久的な大型な建築というのは絶対出来ないが、もしそれが出来るなら観光拠点としてのビジターセンターとかがもっと中心的にあつた方が良いわけである。どこまで出来るのか、利活用がどこまで可能か知っておかないと渡良瀬遊水地利活用の提案は出来ないと思うので、詳しい情報を教えていただきたい。</p>
◎会長	<p>確かにE委員がおっしゃる様に、そういう問題は地域協議会の時からあつた。前からいる委員はその辺は少し分かっているが、新しく委員になられた方は疑問に思う所である。それでは、所管課等から説明を受ける機会を設けたいと思うので、事務局に調整をお願いしたい。</p>
○事務局	<p>河川法となると、やっぱり遊水地課が想定されるが、時期はいつ頃を考えているのか。</p>
◎会長	<p>提案制度でそういう話題が出ると思うので、早めに。</p>
◎副会長	<p>いつもこの規制や縛りにぶち当たる。私達委員は細かい所までわからない。この会議で話し合いながら疑問が出たらシートを作って書いて、その会議の疑問点</p>

<p>◎会長</p>	<p>として事務局に預かっていただいて、次回の会議の際に回答を頂く方法もあろうかと思う。そのようにすれば、所管課にご足労いただく事もない。だいたい回答まで二月くらいは概ねかかるのかと思うが、スケジュールの中で上手くやっていけたらいいと思う。</p> <p>遊水地の利活用については、勉強する機会を設ける。そして、先程お話しいただいた、わからないことがあったらセンターへ提出しても良いし、会議中遠慮なく聞いてもらって、皆さん一つ二つ発言してもらえよう雰囲気やっていきたいと思うので、今後ともよろしくお願ひしたい。段取りは事務局にお願ひしたい。</p>
<p>○事務局 ◎副会長</p>	<p>では、次回質問シートの様式を用意する。</p> <p>地域会議代表として市民会議に出席しているが、5月11日に全体会があった。市民会議のスケジュールについて、市民会議の部会として私は総合計画の見直しの部会に参加しているが、前期は7月に1回、8月上旬2回部会がある。9月に全体会が1回あり、後期は2回全体会がある。地域会議での報告は、前期後期で2回に分けて報告させていただくことでご了承いただきたい。</p>
<p>○事務局</p>	<p>他に意見が出されなかったため、委員に対して以下の4点について事務連絡をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域会議名簿について（5月23日現在） ・ふじおかガイドマップの配付について ・第1回地域会議の会議録写しの配付について ・藤岡地域会議だより第7号掲載予定の委員紹介ページの確認について
<p>○事務局</p>	<p>次回の予定は、合同部会を6月15日（木）午後6時30分から開催し、招集については、二つの部会長の連名で通知する。</p> <p>次回の地域会議は、6月27日（火）午後6時30分から開催することを連絡した。</p>
<p>○事務局</p>	<p>5 閉会</p> <p>午後8時53分をもって第2回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。</p>

別紙 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

会 長	小曾根 慎 一	副会長	田 中 廣
委 員	石 川 悦 史	委 員	海老沼 直 美
委 員	上 岡 裕美子	委 員	神 原 邦 夫
委 員	毛 塚 渡	委 員	田 村 孝 子
委 員	横 田 文 男	委 員	酒 井 一 則
委 員	町 田 佳 子	委 員	山土家 光 幸
委 員	野 澤 和 子	委 員	松 島 宏 恵
委 員	宮 本 育 恵		

欠席者（委員）

委 員 酒 井 雅 子

出席者（事務局）

総合政策部藤岡地域づくり推進課（藤岡地域まちづくりセンター）

山 市 進（課長）	寺 崎 公 夫（主幹兼地域づくり推進係長）
広 瀬 敏 枝（主事）	山 田 智 弘（主事）

出席者（担当課）

総合政策部遊水地課

荒 川 明（課長）	深 津 勝（副主幹兼企画調整係長）
-----------	-------------------